



行政改革大綱



くま博士

後期実施計画書を策定

本市では、今年3月に「行政改革大綱 後期実施計画書」を策定・公表しました。これまでも、平成21年度までを計画期間とした「前期実施計画書」に基づき、行政改革に取り組んできました。そして、今後、平成24年度までは、後期計画の取り組みになります。今回は、本市の行政改革の取り組みについて、ニャオざねとくま博士が説明します。

行政改革大綱とは

博士 ニャオざねは、行政改革大綱を知っておるかな。
ニャオざね もちろんにや。平成24年度を目標年次として、「低コスト高満足市政への転換」の基本理念のもと、「公共サービスの重点化」「効率的な行政運営」「健全な財政運営」の、3つの改革目標を掲げているにや。

博士 うむ。合格じゃ。これは2年前の市報平成20年4月号、5月号にも詳しく出ておったな。
ニャオざね にやは。市報は毎月読んでるからにや。

博士 えらいぞニャオざね。そもそも、行政改革とは、市役所の仕事や、そのやり方などを見直して、より良くしていく取り組みのことじゃ。具体的には、事務事業の見直し、行政組織の簡素化や効率化、職員数や給与の適正化などが考えられておる。

このことは、人、もの、金のほか、情報、時間など、市役所の経営資源を効率よく活用して、行政運営の仕組みや考え方を、時代に合った最もふさわしいものと変換させていくことでもあるのじゃ。

ニャオざね そして行政改革を推進するための基本的な指針となるのが「行政改革大綱」だったにや。

博士 そういつことじゃ。
ニャオざね 行政改革大綱を計画的に実施するための「前期実施計画書」も策定したにや。確か平成21年度までの計画だったにや。

博士 よく覚えておったな。前期の実績については、現在まとめておるところじゃが、平成20年度までの2年間で、なんと約29億円の財政上の効果をあげておる。
ニャオざね それはすごいにや。じゃあ後期も頑張らなくちゃいけないにや。

平成22年度から平成24年度までの「後期実施計画書」は、いったいどんな内容になっているのかにや。

後期実施計画について

博士 一昨年の秋のいわゆる「リーマンショック」に端を発した、世界同時不況は知っておるな。

ニャオざね この市も、税収が下がる「って心配してるにや。でも、熊谷市は基金がいっぱいあるから大丈夫って聞いたにや。

博士 確かに当面は心配ない。しかし、このままの状況が続けば、いずれは基金を使い切ってしまう。どんな状況になっても、安定的に市民サービスを提供していくためには、継続した行政改革の取り組みが必要なのじゃ。後期計画では、「引き続き歳出を抑制するとともに、歳入の増加策にも取り組み、健全な財政運営を堅持する」

ニャオざね ニャオざねの専門分野の「市民との協働」はどうかにや。

博士 協働事業提案制度の拡大や校区連絡会の育成に取り組む計画になっておる。
ニャオざね 職員数は、まだ減員にや。こんなに減らして大丈夫なのかにや。

博士 今回の目標は、実は総合振興計画では平成29年度の目標なんじゃ。今までも目標を前倒しして達成しておるんじゃ。

ニャオざね それと、自主財源の確保は、いっぱいあるにや。
博士 これも大きな課題の

ひとつじゃからな。
ニャオざね 納税率の目標も上がってるにや。

博士 それは、納税率が1%上がれば、約3億円の増収になるからじゃ。
ニャオざね 税収をいっぱい上げるためには、企業もいっぱい誘致したいにや。

博士 そのとおりじゃ。そこで、市内各所に5社以上の誘致を目標としておる。

ニャオざね 第三セクターの見直しも必要なのかにや。
博士 うむ。平成19年度から決算を連結して公表しておるし、第三セクターの経営にもこれまで以上に注視が

改革目標 その2 効率的な行政運営

重点項目	計画項目	後期実施計画の取組内容
組織・機構の見直し	簡素で効率的な組織・機構の構築	・適正な配置職員数の実現 ・行政センターの組織・機構の検討
人材育成の推進	職員の意識改革と能力開発	・熊谷市人材育成基本方針に基づく人材育成 ・研修制度と人事制度の連携
ICT化の推進	ICTを活用した業務改革	・eLTAXの活用などによる電子自治体業務の拡大 ・メール配信サービスおよびホームページでの市民電子アンケートの実施
定員管理の適正化	定員適正化計画にのっとり定員管理	・職員数を1,446人に減員〔消防を除き1,200人とする〕
給与等の適正化	給与制度等の見直し	・時間外勤務時間数の抑制 ・特殊勤務手当の廃止を含めた支給基準の見直し ・国の支給基準と異なるその他手当の支給基準の見直し ・能力・職責・実績を反映できる給与制度の構築
	福利厚生事業の適正化	・職員数の変化に対応した交付金を支出

改革目標 その3 健全な財政運営

重点項目	計画項目	後期実施計画の取組内容
歳出の抑制	補助金等の適正化	・サンセット方式※による見直し（補助金：3年、交付金・負担金：5年の終期設定）
	公共工事コスト縮減	・標準的公共工事コストに対し4%以上の縮減
	公共サービスの市場化	・公共サービス改革法による官民または民間競争入札の導入検討および市場化提案制度の実施
自主財源の確保	収納対策	・納税率92%以上の確保 ・口座振替を促進し、45%以上に増加 ・効果的な滞納処分の推進
	使用料・手数料の適正化	・最終見直しから5年経過の使用料・手数料の見直し
	市有財産の有効活用	・未利用の普通財産（土地）の積極的な売却・貸付の実施 ・機能のない道水路の積極的な売却の推進 ・行政財産の余剰スペースの積極的な貸付の実施
	企業誘致の推進	・3年間で5社以上の企業立地
	広告料収入の拡大	・市有財産等を活用した有料広告事業の実施
水道事業の経営健全化	水道事業の経営健全化	・浄配水場17施設を15施設に統廃合（平成25年度達成） ・企業債残高を毎年2億円ずつ削減
第三セクター等の見直し	監査機能の強化、情報公開の拡充	・決算資料を各団体のホームページに掲載
	給与・役職員数の見直し、組織・機構のスリム化	・給与・役職員数の見直し、組織・機構のスリム化
	市の関与のあり方見直し	・財政的支援、人的支援の見直し
	土地開発公社の経営健全化	・公社保有土地の縮減

※サンセット方式…あらかじめ終期を設定し、終了時点で評価を行い、改めて廃止か継続かを定めるしくみ。



行政改革推進委員会の松本光弘会長（中央）および染谷美美子副会長（左）から後期実施計画書の答申書を受け取る富岡市長（右）

必要になるのじゃ。
ニャオざね いろんな取り組みがあるんだにや。でもあんまりやりすぎて、市民サービスが下がってしまわないか、ちよっと心配だにや。
博士 そうじゃな。これからの行政改革は、単にコストや人員の削減を目標としただけではないかん。
「市民の目線で良くなったと実感していただける改革」となるよう、職員一人ひとりがその方向性を正しく認識し、市民の皆さんと一緒に必要があるのじゃ。これからの行政改革の進み具合を、二人で一緒に見守っていくぞ。
ニャオざね よろしくにや！



ニャオざね
©熊谷市

フォト ニュース

熱烈歓迎中国中山市東升鎮
高級中学棒球隊来訪！



4月30日
中国広東省中山市東升鎮
高級中学野球チームが
市長表敬訪問

同チームは、チームの強化・育成のため、日本で合宿練習を行い、日本の野球技術や大会運営、練習方法などを学びました。

市内では、原田勝美(社)全日本野球技術普及協会理事長(前列左から3人目)の指導の下、立正大学に宿泊し、熊谷商業高校にて練習を行いました。



4月18日・19日 妻沼聖天山春季例大祭

春らしい陽気に恵まれた例大祭では、稚児行列、奉納相撲大会、剣道大会などが催され、多くの参拝客で賑わいました。

4月17日・18日、5月15日・16日

オープンガーデンくまがや 2010



橋本邸(柿沼)

オープンガーデンくまがや実行委員会が主催し、市内39か所の家庭や企業、学校が、手入れの行き届いたガーデンを公開しました。

5月3日・4日

第6回埼玉B級ご当地
グルメ王決定戦



応援に駆けつけた富岡市長とニャオざね

県内各地域自慢のご当地グルメ24品目が、大宮ソニックシティに大集合したイベントに、熊谷市からはかき氷「雪くま」が参戦しました。



陸上競技の祭典 熊谷スポーツ文化公園陸上競技場

4月29日 第7回チャレンジミートインくまがや



全国各地からトップアスリートが出演する陸上競技中長距離の公認記録会が、開催されました。

5月15日・16日

第52回東日本実業団陸上競技選手権大会



日本記録保持者や世界陸上出場者など、国内のトップアスリートが多数出場しました。

5月15日・16日 くまがやエコライフフェア 2010



八木橋百貨店8階カトリックホールとコミュニティひろばで、市民・事業者・市が協働して環境保全意識を高めるための各種イベントが行われました。

4月22日 平成22年度 直実市民大学入学式



熊谷文化創造館さくらめいと月のホールで行われた入学式では、富岡市長の基調講演が行われ、出席した86人の新入生は熱心に聞き入っていました。

5月8日 市民グライダー搭乗会



滑空時間・飛行回数ともに日本一の妻沼グライダー滑空場を舞台に、市民を対象とした搭乗会が行われ、参加者は、はるか東京の高層ビルまで見渡せる絶景を堪能しました。

4月24日 友山まつり



長屋門が有名な青山の根岸家で開催され、大正琴の演奏や、人気の竹の子狩りなど多くのイベントが催されました。

市報クイズ4月号で寄せられたご意見を紹介します。

おたよりパレット

テーマ 遠足・ピクニック

子どもの頃、遠足の前夜は、ワクワクして眠れなかったという人も多いのではないのでしょうか。天気のいい日に、友だちと食べるお弁当は、最高にいいですね。

※おたよりパレットは、市ホームページでも更に詳しく紹介しています ▶ <http://www.city.kumagaya.lg.jp/>

- 子どものころの学校の遠足はとても楽しかったです。歩きがほとんどでしたが、お昼に母親が作ってくれたお弁当がとてもおいしかったです。友だちと少しずつおかずを交換するのも、よその味がわかるようで楽しかったです。(70代・女性)
- ピクニックといえば、決まって森林公園でした。それは、今の子どもたちも変わっていないとのこと。世代を超えて愛される公園が身近にあることが熊谷のいいところだと思います。(30代・男性)
- 私が中学生のときは、サツマイモをリュックに入れて遠足に行きました。今思うと懐かしいです。孫の遠足を見ていると、いろいろなお菓子を持って、なんて幸せなんだろうと思います。(70代・女性)
- 遠足はもちろんです。持っていくお菓子を選ぶときから気持ちは舞い上がっていました。シートを敷いて友だちと食べたお弁当は、とてもおいしかったです。(20代・女性)
- 遠足というと、自分の小学1年生のときは三ヶ尻の観音山へ行き、小学2,3年生のときは今の広瀬河原で宝さがしゲームなどをしました。今ではゴルフ場になり、すっかり様変わりしましたが、小さいころの体を使って経験したことは、ずっと記憶に残っているものです。(60代・女性)

応募方法

ハガキまたはEメールに、クイズの答え・住所・氏名・年齢・電話番号・今月のテーマ「雨の季節」についてのコメントを必ず記入のうえ、6月24日(木)までに応募ください(一人につき一通)。
※コメントがないものは無効となります。
《応募先》
〒360-8601 宮町二丁目47番地1 熊谷市広報広聴課
☐ kohokocho@city.kumagaya.lg.jp
※なお、市内の商店・企業を知っていただくという趣旨で、当選者にはプレゼント引換券をお送りしますので、お店でご利用ください。当選者の発表は、プレゼント引換券の発送をもって代えさせていただきます。

4月号の正解 ①どんぐり ②生活
◆応募総数58通中、正解55通

今月のテーマ「雨の季節」にいただいたコメントは、「おたよりパレット」や市ホームページで紹介させていただく場合があります。

今月の問題

- 次の□に入ることばを、それぞれお答えください。
- ①第19回めぬま祭りでは、□ 雛子の参加者を募集します。
 - ②くまがやエコライフフェア2010において、熊谷市環境□ 作品展を開催しました。

今月のプレゼント

ニシダ館^{あひ}提供の、しおまるくん^{はやし}ことなセットを、正解者の中から抽選で20人に差し上げます。

ニシダ館 所在地:中西1-1-16 電話:048-522-1983





音楽と無縁の生活から音大合格
小・中学校時代は音楽とは全く無縁でした。高校に入ってから音楽の先生にコーラス部に勧誘されたのが私の人生が変わるきっかけとなりました。といつもその頃は厳しいコーラス部の練習に耐えていたくらいで放課後は仲間と夜遅くまで遊んでばかりいました。ある日先生にそのことで叱られた時、どういうわけか

情熱世代 夢追い人

人とのつながりが人生を変えた

俳優・歌手
岡田 誠さん（曙町出身）



舞台「のぼら」で熱演する岡田さん

仲間とともども音楽大学に合格することを誓ってしまいました。その日から私の人生は変わりました。音楽大学に合格するにはピアノなど楽器はもちろんな楽譜や音楽史などの知識もなければなりません。コーラス部の練習を中心に音楽漬けの毎日になりました。そのおかげで無事国立音楽大学に合格しました。

いろいろな人との「つながり」
大学に入ると先輩のついで音楽関係のアルバイトなどいろいろな体験をしました。卒業後もさまざまな人とのつながりで音楽だけでなく、役者としても舞台に立つようになりました。三谷幸喜さん演出の「オケピ！」や宮本亜門さん演出の「太平洋序曲」でのアメリカ公演などにも出演でき、とてもありがたいことだと思っています。

しかし、せっかくお誘いをいただいたでもその舞台で結果が

出せなければ意味がありません。いつでも一つひとつの仕事に全力で取り組んでいます。

亡き母が残してくれたもの
舞台の仕事が順調になってきたころ、母がガンの宣告を受けました。そして母から「どうせやるなら形に残るものをやりなさい」と言われ、自分の歌をCDにすることにしました。制作に関しては母や恩師が奔走してくれ、何度かくじけそうになりましたが、無事今年の1月にCD「生きてりやいさ」に母に捧げる歌たちを完成することができました。その後間もなく母は亡くなりました。母は私にCDと音楽を命がけで残してくれました。母との、そして様々な人とのつながりの大切さが深く身に沁みました。

大学時代から熊谷を離れて生活しています。熊谷には友人やお世話になった近所の人たちがいます。今後も熊谷の人たちに私の歌や演技が届けられるようがんばりますのでよろしくお願いします。

岡田さんのテレビ、舞台出演やCDの販売情報は下記ホームページで紹介しています。
岡田誠のブログ <http://ameblo.jp/okamamakoto/>
M.T.プロジェクト(岡田さんの所属事務所)ホームページ <http://www.mt-pro.co.jp/index.html>

普段、足の指を意識して生活することはさほどありませんが、体重を支える時や姿勢保持、歩行時に地面を蹴るときなどに使われるため、とても重要な部分です。

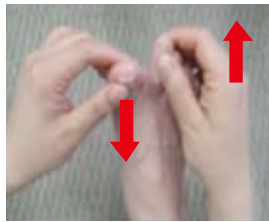
また、外反拇趾を予防するためにも足の指を動かす必要があります。

ご自分の足の指をチェックし、適度に動かすことで足元のケアを行いましょう。

熊谷さくら運動公園 健康運動指導士 山北 修次



指をつまんで、交互に前後に動かします。ゆっくりと10回くらい行ってみましょう。



1本ずつ外側の指へと移動し動かしましょう。

足の指チェック！
ご自分の足の指を動かせますか？
足の指を「パー（大きく広げる）」「グー（指を丸める）」と動かしてみよう。
思い通りに動かない方は、足の指がうまく使えず、歩行時に地面を蹴ることができなかつたり、重心が後ろへ傾き、腰に負担がかかっている可能性があります。

足の指を動かそう！
両手で足の指を前後・交互に動かしてみよう。
親指側から1本ずつ外へゆっくり大きく動かします。足の指を動かすことで血行が良くなり、冷え性やむくみを解消します。

エクササイズガイド

・運動の際は、呼吸を止めずにゆっくり行いましょう。

・動かすと痛みが出る方、障害のある方は医師とご相談のうえ、行ってください。

◆健康づくり課 ☎ 048-528-0601

人口と世帯

●平成 22 年 5 月 1 日現在（対前月比）

■人口 205,923 人（+637） 男 103,113 人（+541） 女 102,810 人（+96） ■世帯 82,283（+668）

「市報くまがや」は、毎月 1 日（原則）に発行します。

「市報くまがや」は、再生紙を使用しています。